

嘉瀬川ダム活用推進協議会
責任者 佐保和彦

ダムカツ

TAKE
FREE

あなたに知ってほしい富士町と嘉瀬川ダムの魅力を発信！



嘉瀬川ダムの冬景色

山の木々が真っ白に染まる
幻想的な世界にダム湖が映える
美しい季節になりました。

今回のダムカツは、
SAGA2024
国スポ・全障スポ特集。

現地で試合を観て、
選手達を応援する
スポーツ観戦の良さを
味わいに来てみませんか？

ダムリレートーク Vol.7
『富士町とスポーツと未来を語ろう』

富士町スポーツ協会 会長 原 敏朗さん
富士まちづくり協議会 会長 吉浦 明さん
サガフルユキャンブ マネージャー山田 泰嗣さん

今秋、佐賀県で開催されるSAGA2024(国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会)に向けて、佐賀県内各地でプレ大会が開催される等盛り上がりを見せています。ここ嘉瀬川ダムでは、ロイヤリング(ボート)・カヌーが開催されます。

今回は、会場となる富士しやくなげ湖水上競技場で「富士町とスポーツと未来」をテーマに吉浦明さん、原敏朗さん、山田泰嗣さんに語っていただきました。

みなさんのスポーツの経歴と思い出

吉浦 私は学生の頃から陸上一筋です。長距離ランナーとして数々の大会を経験しましたが、中でも選手・監督を通じて四十年にわたって参加した県内一周駅伝や九州一周駅伝には思い入れがありますね。面白味があったし、苦しくも楽しかったです。

原 私は中学では野球、高校・大学では陸上部で走高跳や十種競技をやっていました。教師の道に進んでからは、野球部の顧問、中学校での陸上部創設等に関わり、富士町体育協会には約五十年間、富士町でのマラソン大会には約四十年間携わっています。

山田 僕は野球部だった中学の時の駅伝大会で区間賞を取ったことをきっかけに、高校から陸上を始めました。箱根駅伝に出たくて進学した筑波大学では念願かなって箱根を走りました。



スポーツが「彩りのある人生」に導いてくれた

吉浦 とにかくスポーツをしてこなかったら、陸上の恩師と出会っていなかったら、今の自分はないかなと言えます。

山田 僕も同感です。一度の箱根駅伝出場が東京陸上競技協会に関わることとなり、帰後は佐賀陸上競技協会と現在も陸上に関わり続けていることに喜びを感じています。

原 私も同感ですね。教師をしていた時はスポーツを通じて子どもたちが成長していく姿を幾度となく見てきました。それは技術的・体的なことだけでなく、人間性に関わる部分も含めてですね。



富士町とスポーツと未来

吉浦 富士町は人口減少が進んでいて、とりわけ子どもが少なくなりましたね。昔は多くの子どもたちが山間部で徒歩通学だったから通学することで足腰が鍛えられていて成長が楽しみな選手も多かったです。

原 スポーツをする環境が激変しましたね。人が集まるのが難しくなりました。けれども今はニュースポーツ等少人数でできるスポーツが多様化しています。水上スポーツも多種多様です。富士町にはいろいろなフィールドがあるのだからいろんなアイデアを出し合っただけ関係人口が増えてほしいところです。



▲インタビュー風景①

吉浦 富士町には富士しやくなげ湖水上競技場や、サガフルユキャンブ、山村広場など素晴らしい施設がありますね。

山田 サガフルユキャンブには県内外からスポーツ合宿等の利用があり、それらの施設のすばらしさが好評ですよ。陸上経験から考えると山間部独特の地形を生かしてトレイルランニングのコースがあるといいなと思います。アスリートはもちろんのこと、幅広い世代で健康増進のための運動にも利用できるような。

吉浦 それはいいね！かつて九州一周駅伝の佐賀県チームは富士町や三瀬村で合宿していましたよ。足腰を鍛えるには最適なところだし、地域との交流もありましたよ。

原 健康増進や地域のつながりに発展していくことが望ましいですね。現段階では、富士しやくなげ湖水上競技場を利用して、富士ジュニアアカアーククラブが発足しました。富士町内外の子どもたちががんばっていますよ。

吉浦 まさに嘉瀬川ダムがある富士町だからできることですね。まだまだいろんな可能性がある。これからもっとこの富士町を舞台にスポーツが盛んになってほしいですね。

山田 来年のSAGA2024では全国からアスリートが集まってさらにいい刺激になりそうですね。



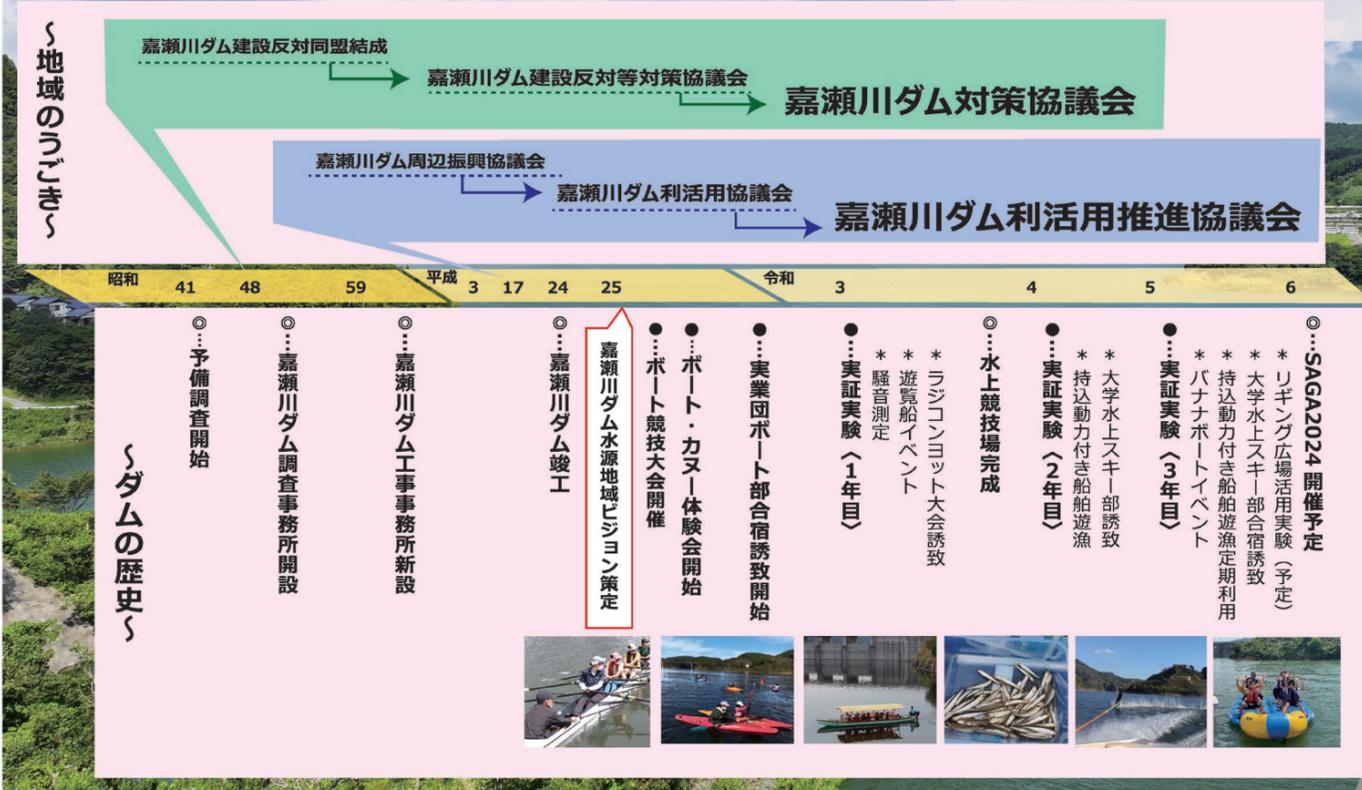
▶インタビュー風景②

SAGA2024をきっかけに新たな水上スポーツにも力を入れて、更なる富士町の盛り上がり期待しています。
原・山田・吉浦

富士しゃくなげ湖 利活用計画

予備調査から完成まで約半世紀 46 年もの歳月を費やした 嘉瀬川ダム。
平成 25 年に * 嘉瀬川ダム水源地域ビジョン計画が作成されてからは地域の団体等
からなる嘉瀬川ダム利活用推進協議会を中心に これまで湖面ルール策定や地域
活性化を目的とした湖面利活用実証実験が実施されている。
国スポ以降も地域のシンボルを持続的に活用していくことを目指し奮闘している。

※嘉瀬川ダム水源地域ビジョンとは【新ふるさとづくり】を進めるための
地域の自立的・持続的な活性化を図るアクションプログラムのこと。
「既存施設の有効利用の促進」「既存イベントとの連携」を軸に水
源地域である富士町の活性化を目指した計画。



SAGA 2024

国スポ・全障スポ

嘉瀬川ダムのダム湖（富士しゃくなげ湖）に、2022年7月に水上競技場が完成しました。2024年に佐賀県で開催される「SAGA2024国スポ・全障スポ（国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会）」では、ローイング（ボート）とカヌースプリントの競技会場として利用されます。



ローイング（ボート）

開催日程
2024年9月14日(土)～2024年9月17日(火)

ローイング（ボート）とは・・・
湖や川などに設営された直線コースで着順を競います。国スポでは1人乗りのシングルスカル、2人乗りのダブルスカル、4人乗りの舵手付フォア、舵手付クォドルブルの種目があります。各種目とも距離1,000mのコースで競い、勝敗は艇の先端がゴールラインを通過した順位で決めます。



カヌースプリント

開催日程
2024年10月11日(金)～2024年10月14日(月)

カヌースプリントとは・・・
流れのない川や湖を利用し、直線コースをいかに早く漕ぎきるかを争う競技です。漕ぎ方と姿勢が異なるカヤックとカナディアンが2種類あります。カヤックは進行方向に向かって両ひざをそろえ足を前に出して座り、両端にブレード(水かき)がついたパドルを交互に漕いで進みます。カナディアンは、立てひざの姿勢で進行方向に向かって座り、片側にブレードのついているパドルで、艇の片方だけを漕ぎ進みます。



編集後記

☆ドキドキ・ワクワク 国スポ開催の年☆
いよいよ今年は富士しゃくなげ湖で国民スポーツ大会のローイング・カヌー競技が開催される年！ということで、今回のダムカッツはスポーツをテーマに取り上げました。ダムカッツ創刊のキッカケの1つが、国スポ開催に向けてダム湖や富士町の魅力を伝えたい！届けたい！そして継続してもっと多くの方に富士町を訪れてもらいたい！との声から始まり、早4年目に突入。いよいよ国スポ開催の年を迎え、全国から富士町を訪れる選手・関係者のみなさんと地域が一体になって盛り上がりを見せる様子を想像し、今からワクワクしています。多くの方にダムカッツを手にとってもらい、ダム湖や富士町の魅力を伝えることができるよう、ますます楽しい情報を発信していきます！

ダムカッツ編集部 原 真弓
【趣味】美味しい料理店巡り【富士町の好きなところ】自然と温泉